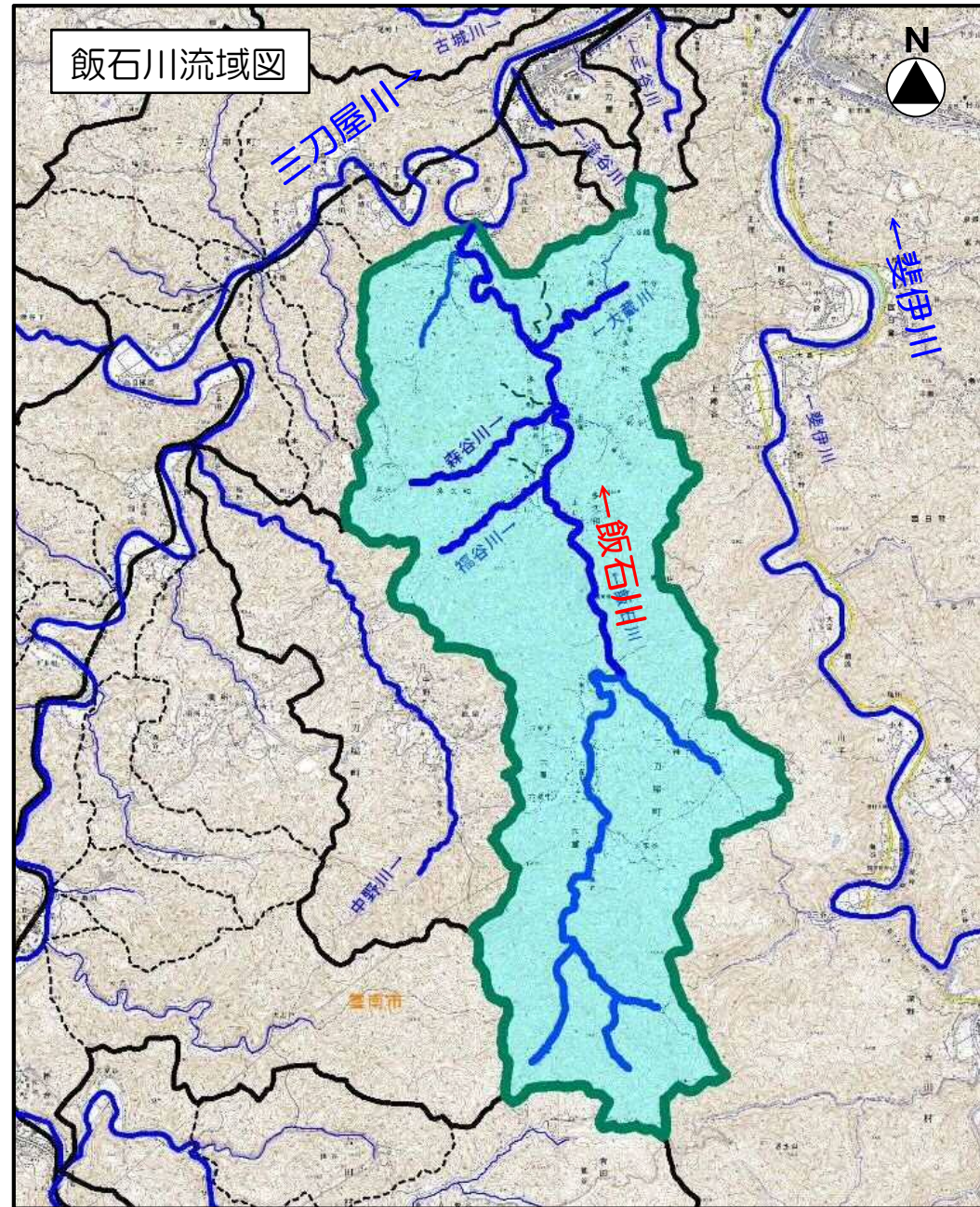
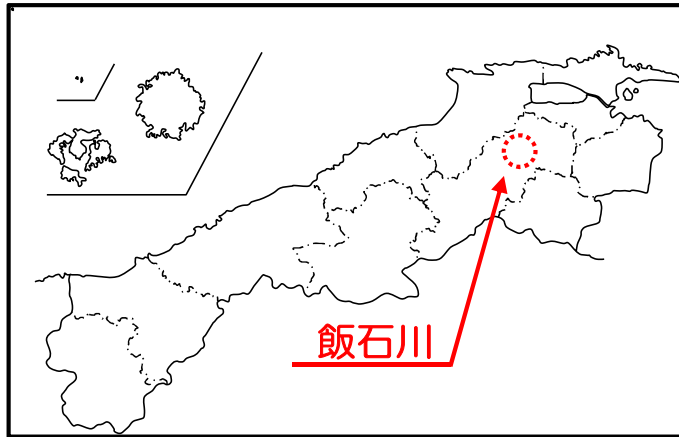


斐伊川水系中流支川域河川整備計画

飯石川における治水対策の概要

飯石川流域の概要

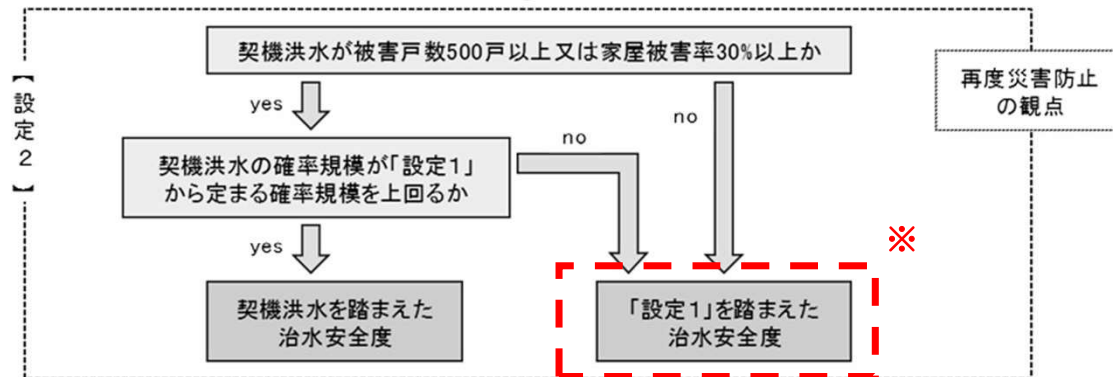
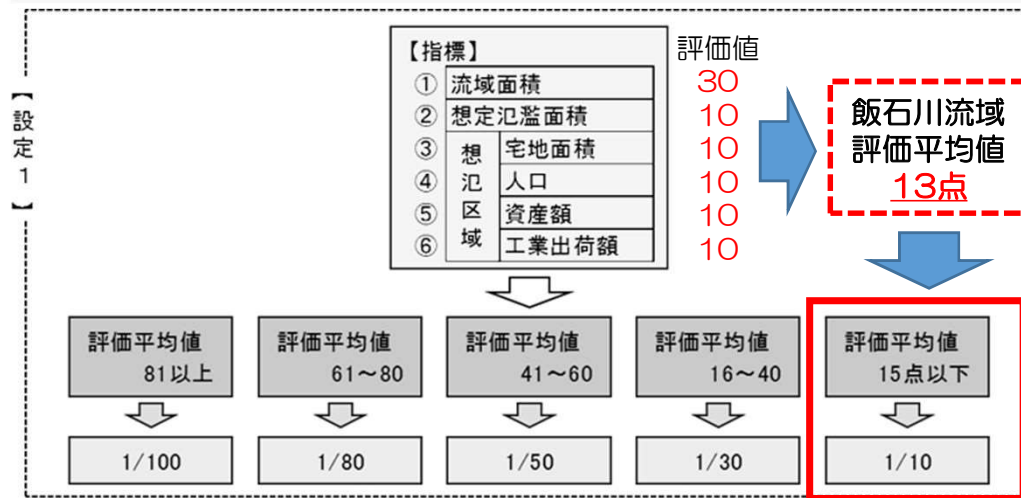


| | |
|-------|----------------------|
| 河川名 | 斐伊川水系飯石川 |
| 流域面積 | 20.64km ² |
| 指定延長 | 4.04km |
| 流域自治体 | 雲南市 |

飯石川計画規模の決定

【評価基準】

| 評価値 | 10 | 30 | 50 | 80 | 100 |
|-------------------------|--------|-----------|------------|-------------|---------|
| 流域面積 (km ²) | 10 未満 | 10 ~ 50 | 50 ~ 100 | 100 ~ 200 | 200 以上 |
| 想定氾濫面積 (ha) | 100 未満 | 100 ~ 300 | 300 ~ 1000 | 1000 ~ 2000 | 2000 以上 |
| 想 宅地面積 (ha) | 10 未満 | 10 ~ 50 | 50 ~ 100 | 100 ~ 200 | 200 以上 |
| 区 人口 (千人) | 1 未満 | 1 ~ 4 | 4 ~ 10 | 10 ~ 20 | 20 以上 |
| 域 資産額 (億円) | 100 未満 | 100 ~ 300 | 300 ~ 700 | 700 ~ 1000 | 1000 以上 |
| 工業出荷額 (億円) | 5 未満 | 5 ~ 50 | 50 ~ 100 | 100 ~ 200 | 200 以上 |



計画規模決定の流れ

県管理河川の治水安全度設定フローにより計画規模を決定する。

①流域の状況进行评估
(評価基準により算出)



②計画規模設定フローにより決定
(設定1、設定2により検討)

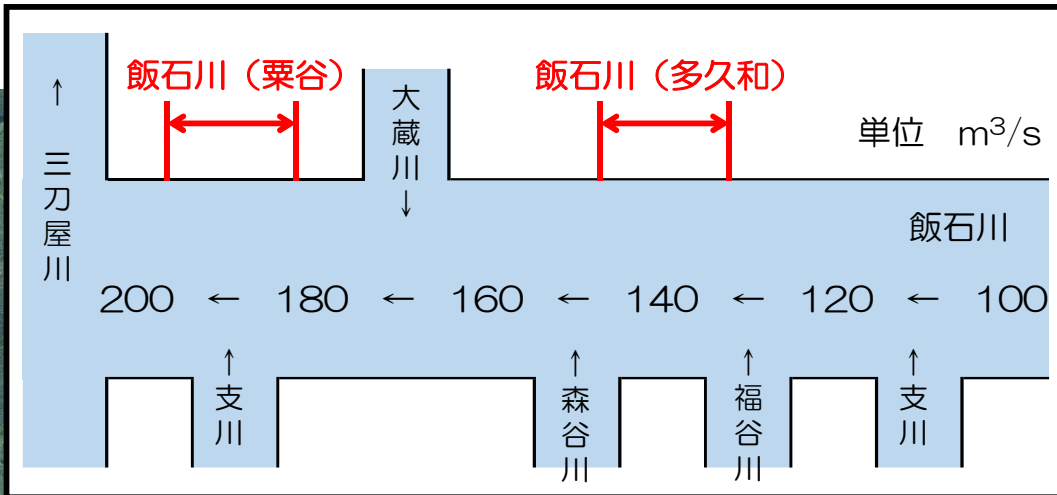
計画規模 (飯石川)

流域内の社会的・経済的指標をもとに計画規模を**1/10**※とします。

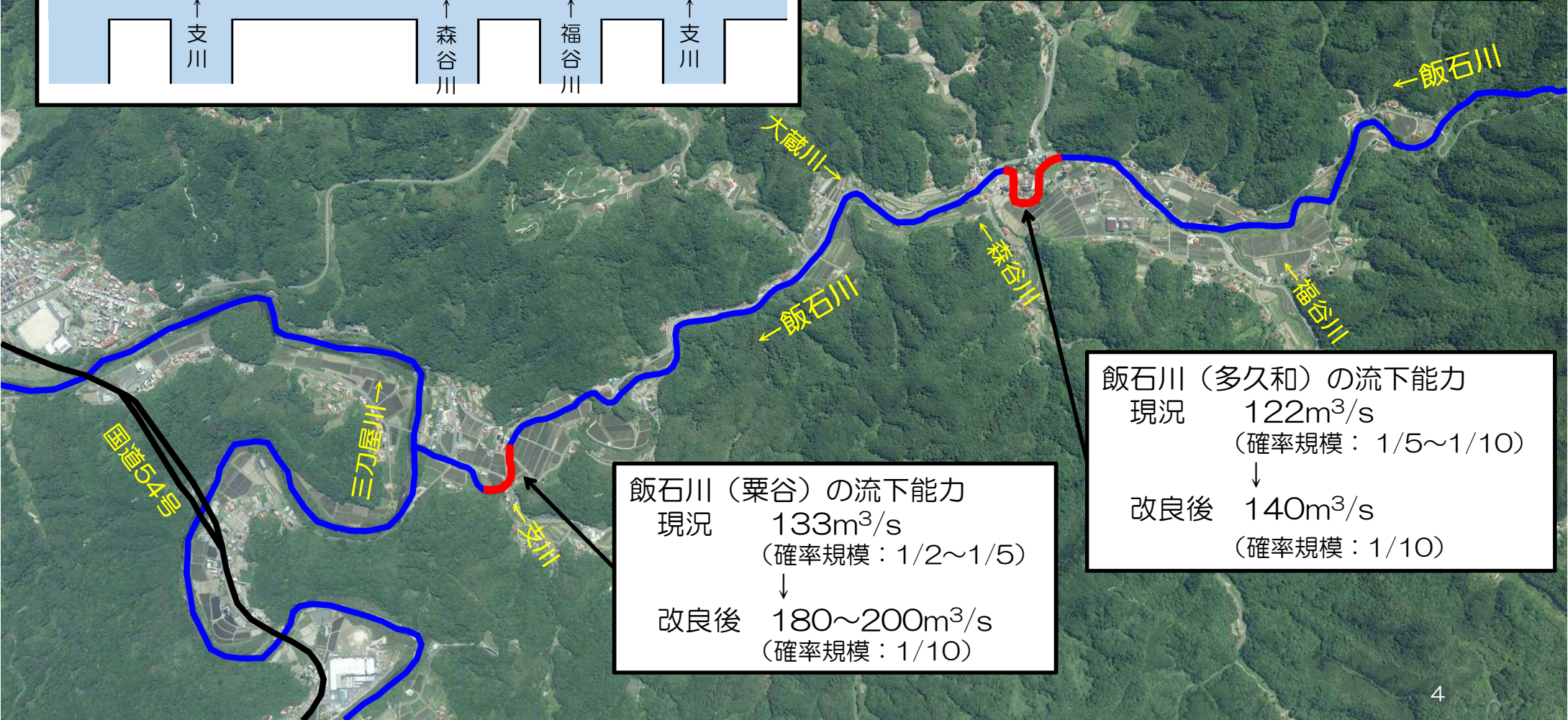
※計画規模1/10の改修でも宅地の浸水が解消しない粟谷地区上流については、部分的に護岸のかさ上げすることで再度災害を防止します。

県管理河川の治水安全度設定フロー

飯石川河川整備概要



飯石川について、**確率規模1/10**の計画とし、三刀屋川合流点で **$200m^3/s$** の流量とします。今回の河川整備計画の変更により、栗谷及び多久和地区において、確率規模1/10を確保するため工事を実施します。



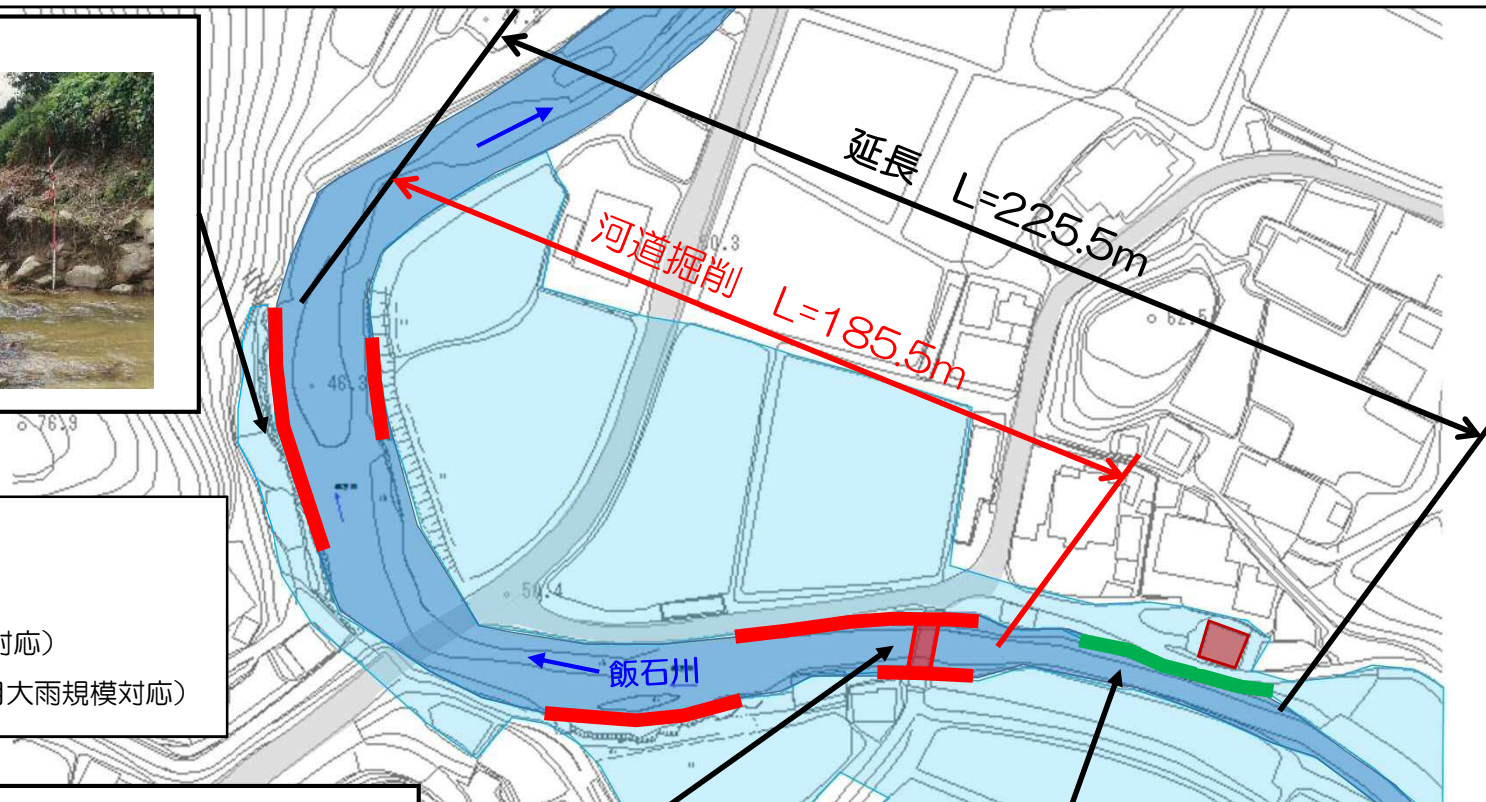
飯石川 (栗谷) の流下能力
 現況 $133m^3/s$
 (確率規模: 1/2~1/5)
 ↓
 改良後 $180\sim 200m^3/s$
 (確率規模: 1/10)

飯石川 (多久和) の流下能力
 現況 $122m^3/s$
 (確率規模: 1/5~1/10)
 ↓
 改良後 $140m^3/s$
 (確率規模: 1/10)

飯石川（栗谷）

大雨により被災した護岸を復旧します。
また、氾濫の原因となった市道橋の架け替えとともに、河道掘削、護岸のかさ上げを行うことで、再度災害防止を図ります。

護岸の被害状況（復旧）



凡例

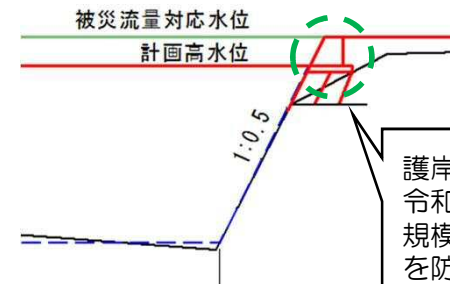
- 浸水範囲 (R3.7.12)
- 浸水建物
- 施工箇所 (1/10規模対応)
- 施工箇所 (令和3年7月大雨規模対応)

氾濫の原因となった市道橋（架け替え）



市道橋の高さが低く、
橋の上流で溢れた

護岸のかさ上げ（令和3年7月対応）

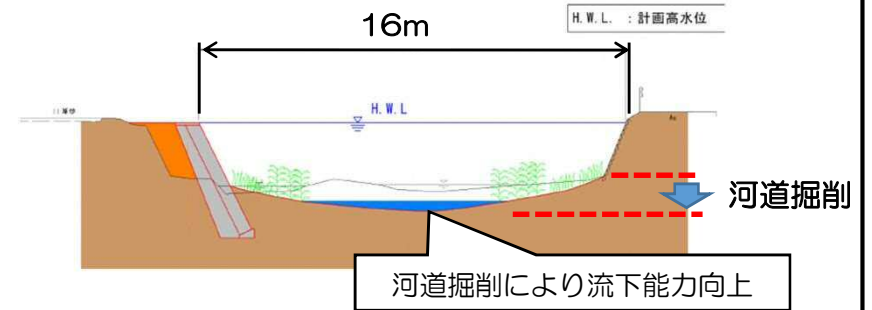


護岸のかさ上げにより、
令和3年7月の大雨の
規模においても家屋浸水
を防ぎます

飯石川（栗谷）

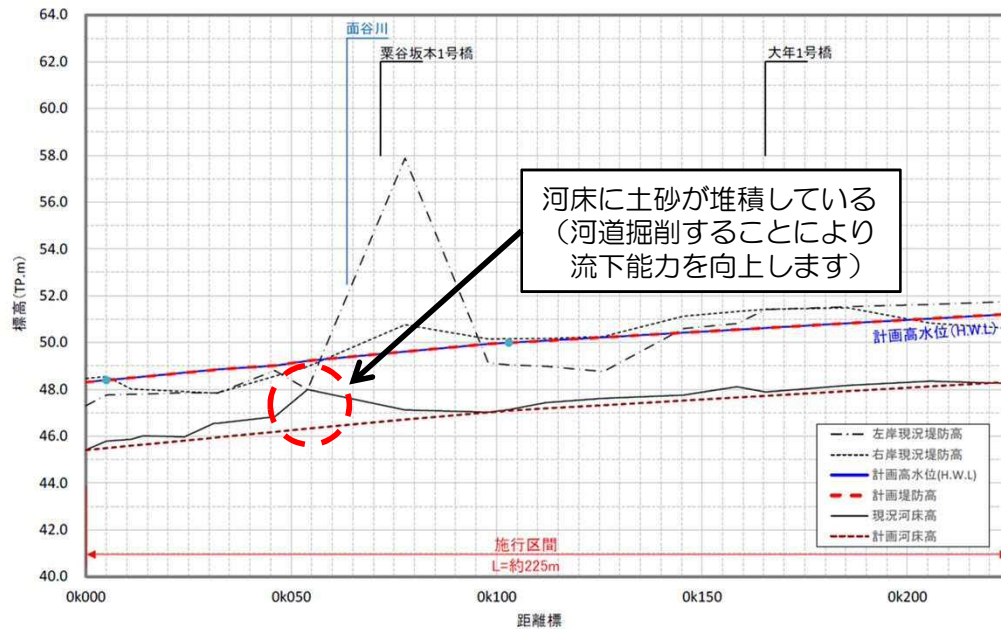
河川整備のイメージ

飯石川（大年1号橋から下流50m付近）



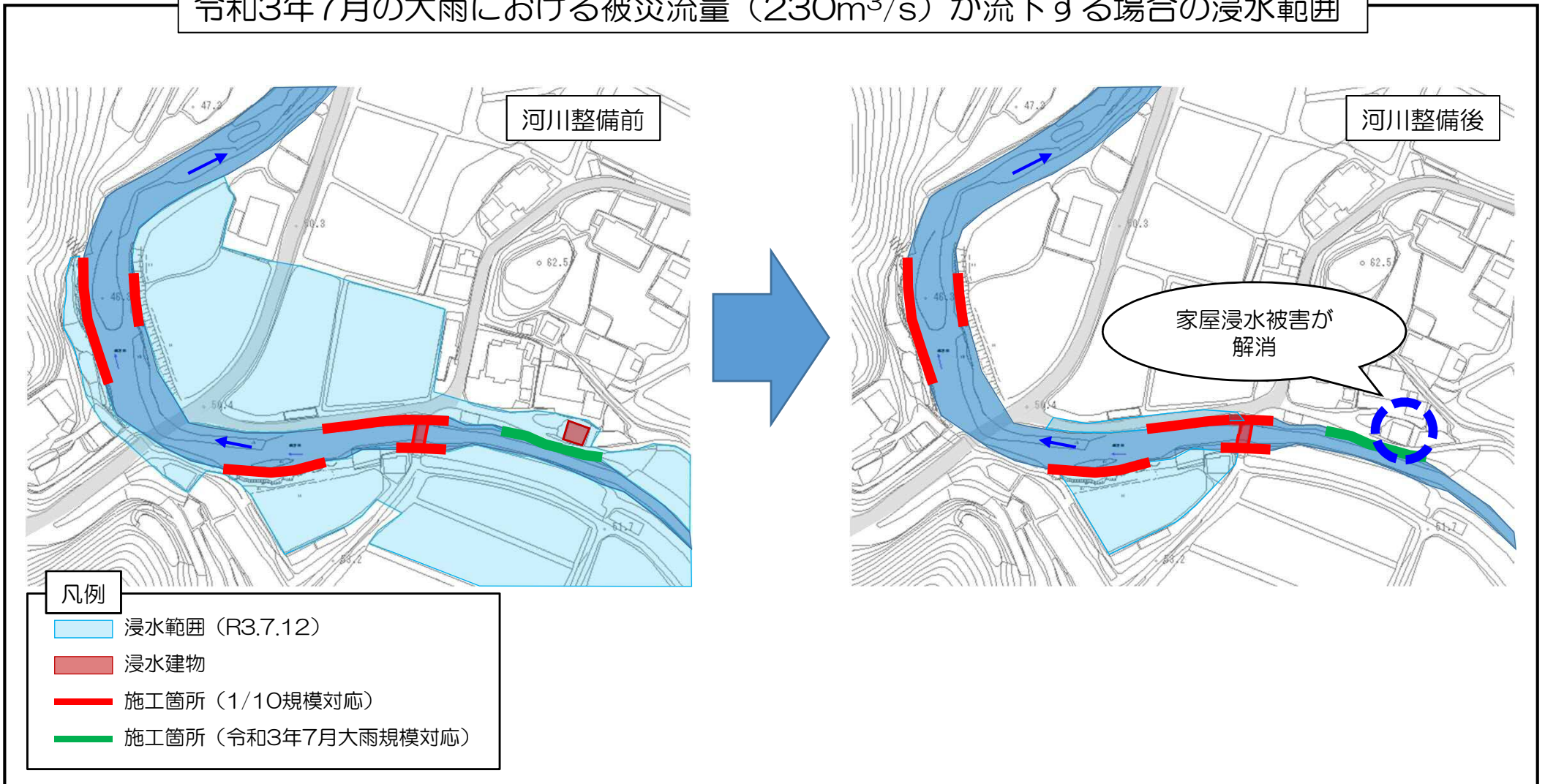
※改修におけるイメージ横断面図です。
水深を確保できるようにみお筋を設けます。
実施に当たっては、今後の調査・検討を踏まえ決定します。

河川整備の縦断計画



飯石川（栗谷）

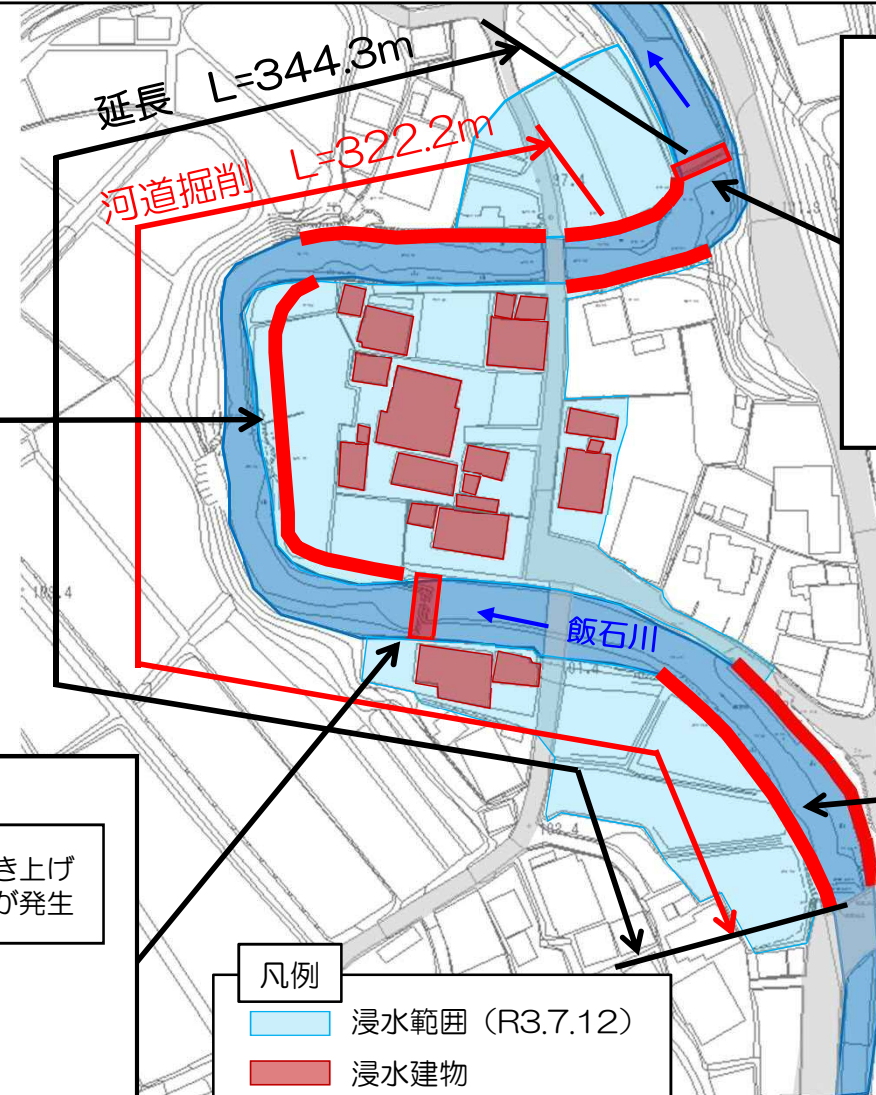
令和3年7月の大雨における被災流量（ $230\text{m}^3/\text{s}$ ）が流下する場合の浸水範囲



河川整備により家屋浸水被害が解消されます

飯石川（多久和）

大雨により被災した護岸を復旧します。
 また、氾濫の原因となった取水堰を改築するとともに、狭窄部の拡幅および屈曲部の是正を行うことで、再度災害防止を図ります。



屈曲部の是正（河川の拡幅）

屈曲部の影響により溢れた

河川の幅を広げ、流下能力を向上します

屈曲部の影響により溢れた

堰の改築（可動堰へ改築）

下流の堰

堰の影響によるせき上げが生じ、浸水被害が発生

堰の改築（可動堰へ改築）

上流の堰

堰の影響によるせき上げが生じ、浸水被害が発生

狭窄部の解消（河川の拡幅）

河川の幅を広げ、流下能力を向上します

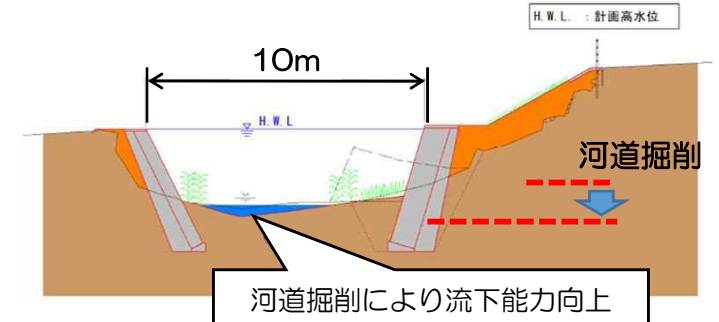
川幅が狭いため溢れた

- 凡例
- 浸水範囲（R3.7.12）
 - 浸水建物
 - 施工箇所

飯石川（多久和）

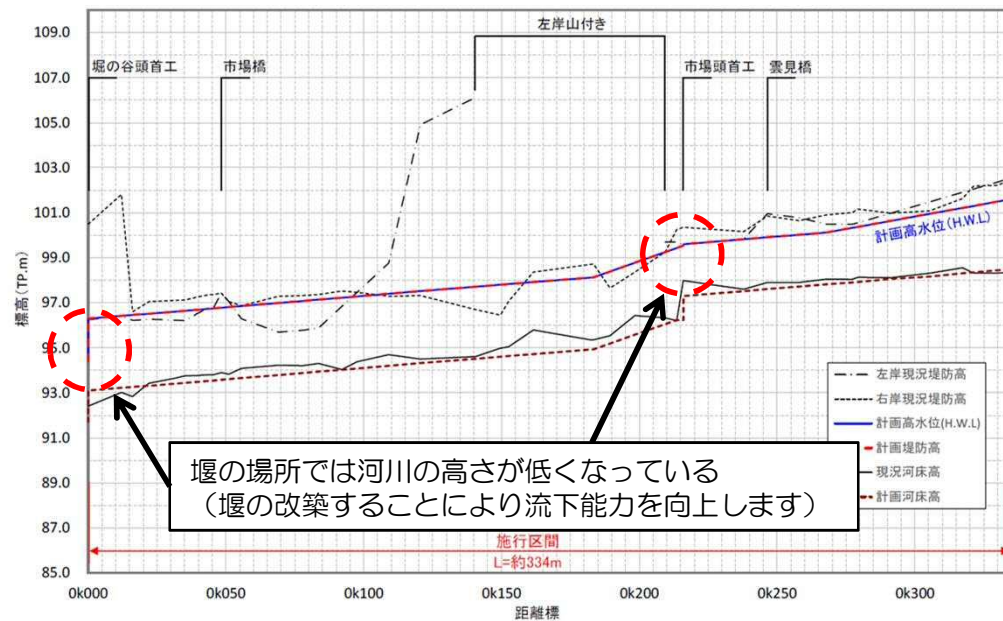
河川整備のイメージ

飯石川（川本橋から下流20m付近）



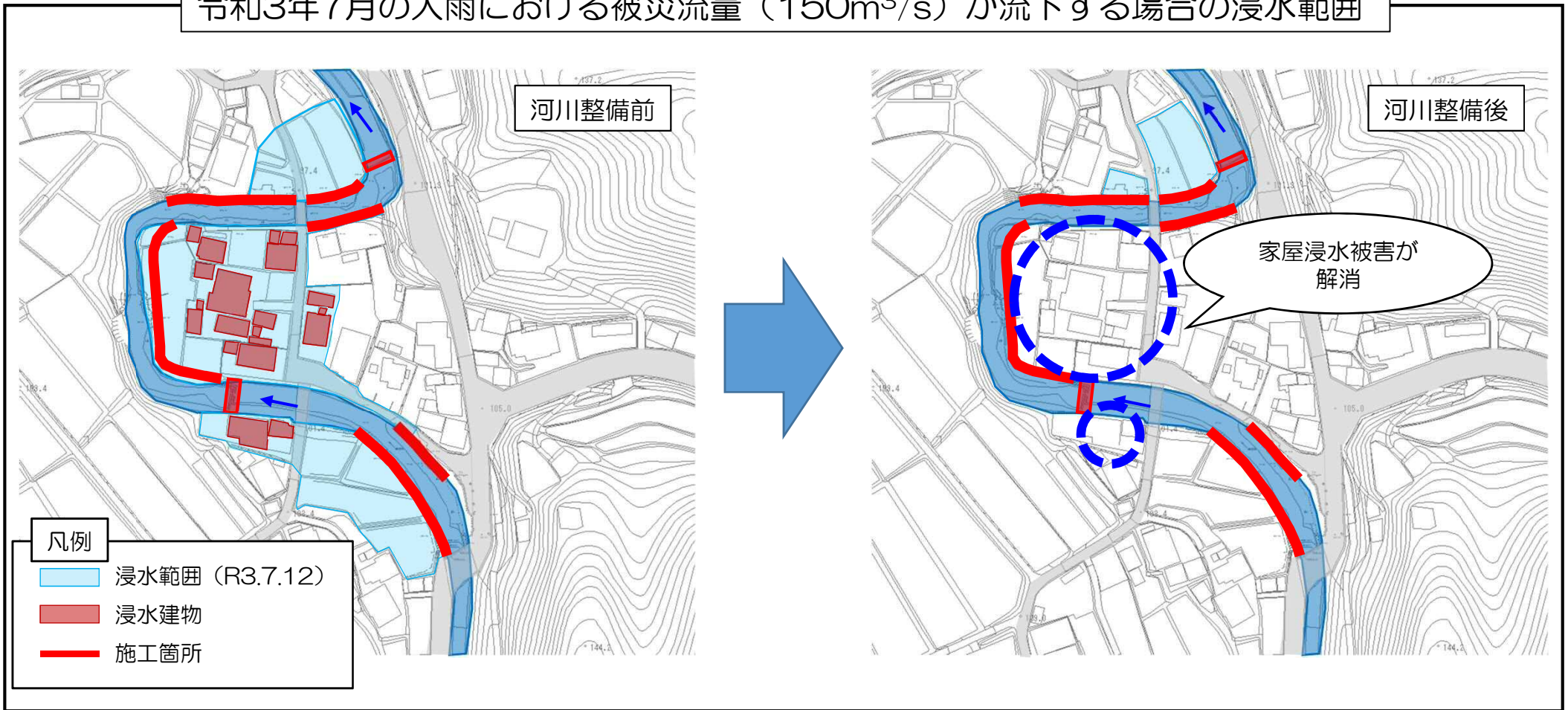
※改修におけるイメージ横断図です。
水深を確保できるようにみお筋を設けます。
実施に当たっては、今後の調査・検討を踏まえ決定します。

河川整備の縦断計画



飯石川（多久和）

令和3年7月の大雨における被災流量（ $150\text{m}^3/\text{s}$ ）が流下する場合の浸水範囲



河川整備により家屋浸水被害が解消されます

飯石川環境配慮方針

飯石川環境配慮方針

- 絶滅危惧種等の重要種は、文献調査からは生息・生育は確認されなかったが、整備に際し発見された場合には、別途、保全対策を検討します。
- 多様な生物の生息環境の保全及び良好な河川景観を維持するため、現況の河畔林、淵、瀬をできるだけ保全するよう努めます。
- 水辺の生物の陸域・水域間の移動経路を維持するため、河畔林、淵、瀬、水際植生を一体的に保全するよう配慮します。
- 上下流の生物移動に配慮し、必要に応じて対策を検討します。
- 現況の河床を極力保存し、大石は流れに変化を与え多様な瀬の形成に役立つため、極力残置します。